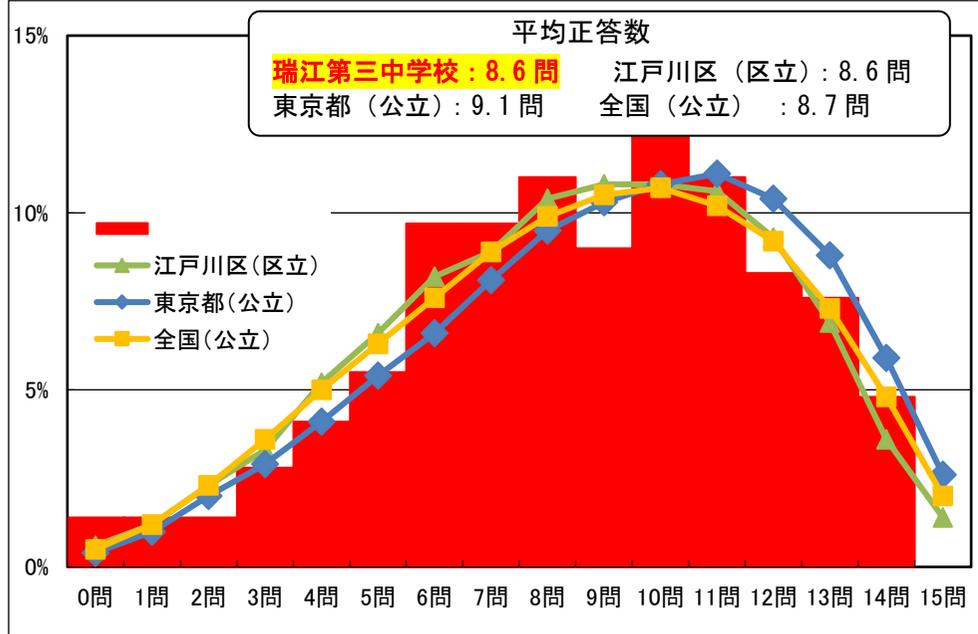
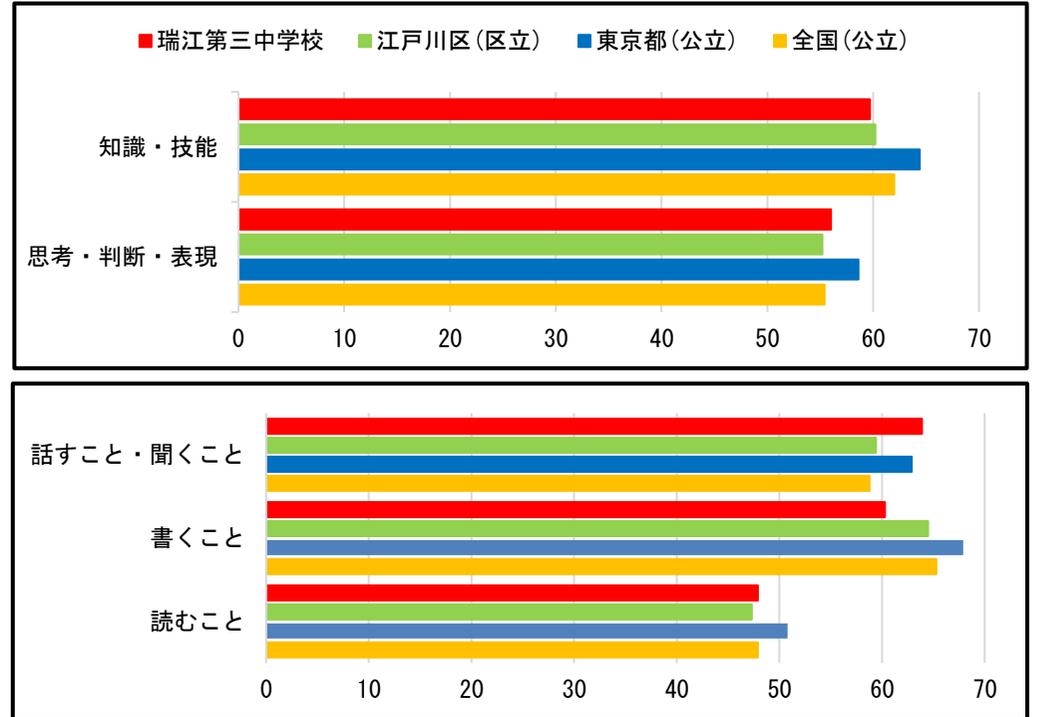


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 瑞江第三中学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
<b>瑞江第三中学校</b>	<b>20.7</b>	<b>32.4</b>	<b>20.7</b>	<b>26.3</b>
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

## 【平均正答率の差】

<b>瑞江第三中学校</b>	<b>57%</b>
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	<b>-4ポイント</b>

## 【分析結果と授業改善に向けて】

本校は「話すこと・聞くこと」に比べ、「読むこと」が16%低いという結果が出ている。問題別に見ても、物語や会話の内容から、展開を予想したり、「主旨」を読み取ったりすることが苦手な傾向である。また「表現の工夫」を問う問題の無回答率が10%を超えていることから、「文章を読み、さまざまな表現を学ぶ」ことが必要であると考えられる。これらを補完するための工夫をした授業改善を行い、「YOMUよむワークシート」も取り入れていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。